

## 松阪市(三重県) みんなで取り組む「緑のカーテン」



環境課の緑のカーテン

松阪市では、地球温暖化防止の取り組みの一つとして、平成20年度に「緑のカーテン」の取り組みを始めました。最初は市の庁舎や市施設のみでしたが、平成21年度からは市民にも「緑のカーテン」への参加を呼びかけ、アサガオとゴーヤの苗、合わせて約1200株を配布しました。昨年には約2000株を、今年は2700株あまりを配布し、開始から4年目となった今では、多くの市民の間にこの取り組みが広がっています。

また、今年は松阪市環境パートナーシップ会議(※)においても『緑のカーテンコンテスト』を開催するなど、「緑のカーテン」への関心を高める活動も行われます。

環境課では、松阪市環境課のホームページで『緑のカーテン～ゴーヤ・アサガオ成長日記～』と題して、毎年環境課が育てている「緑のカーテン」について、その成長記録やカーテンの温度測定による効果の検証結果を紹介するなど、情報発信を続けています。

節電が叫ばれる今年の夏は、「緑のカーテン」人気に拍車がかかりましたが、来年以降も更に多くの市民が関心を持ってこの取り組みを続けていけるよう、市では様々な推進活動を行っていきます。

(※市民、市民団体、事業者、行政が連携・協力して、環境にやさしい行動を実践していく組織)

松阪市環境部環境課 電話: 0598-53-4425

平成23年度  
緑のカーテン～ゴーヤ・アサガオ成長日記～

松阪市役所第一分館で育てている  
ゴーヤとアサガオの成長日記を更新しています。

6月30日 - 成長日記をついに始めました！  
7月11日 - 梅雨明けひと月もつるが大きくなりました！  
7月26日 - 日差しがささぎっています！

7月も下旬になり暑い日が続いていますが、第一分館の緑のカーテンは、写真でわかるように、カーテンの内側が暖くなっています。夏の強い日差しがささぎっています。まだまだこれから葉っぱが広がり、更に成長してくれるでしょう。成長してきました。カーテンの効果がかかるように温度測定を行ってます。

ホームページで紹介

中部環境  
パートナーシップオフィス  
EPO中部

2014年までになにを残すか  
～ESD地域実践～

EPO中部では、ESD(持続可能な開発のための教育)を開設当初から重点柱に位置づけ、事業展開を進めています。持続可能な開発とは、将来世代のニーズを満たす能力を損なうことなく現在の世代のニーズを満たすような社会づくりのことです。この「持続可能な開発」のための教育(ESD)については、2003年に開催されたヨハネスブルグサミットにて、日本のNGOからの提案を受け当時の小泉元首相が「国連ESD10年」キャンペーンを提唱し、2005年にスタートしました。日本政府が提唱したということもあり、日本政府はかなりイニシアティブをとって進めており、2014年の最終会合は日本で行われることとなっています。

ESDの目標は、一人ひとりが、世界の状況や将来の世代と、現在の社会や自分の関係を見つめ、自らが生きる社会を持続可能な社会とするためにできることから始めることを目指しています。具体的には、一人ひとりのデータや情報を分析する能力、コミュニケーション能力、リーダーシップ能力を向上させるとともに、人間の尊重、環境の尊重といった持続可能な開発に関する価値観を培うことを重視しています。

東海地域では、環境、国際理解、国際協力、教育をテーマに活動しているNPO/NGOが中心にESDに取り組み、北陸地域においては、学校におけるESD実践が進んでいます(もちろんNPOも取り組んでいます)。EPO中部は、地域の実践者とESDモデル作り、フォーラム、講座、事例アンケート調査、教育分野での実践研究など環境省の多様なESD施策と連動して事業を展開し、地域でのESD普及に努めています。

しかし、まだまだ認知度は低く、ESDの価値やその重要性が広く社会に理解されておらず、現場での実践に活かされていない状況です。一方、新学習指導要領には、持続可能な社会の構築の観点が盛り込まれ、ESDの考え方沿った教育を行うことができるようになり、先般改正された環境保全活動環境教育推進法には、ESDの一層の充実がうたわれています。このような社会の追い風がある今、我々地域の実践者がいかに実践するか、実践を根づかせるかが重要です。

EPO中部に最近、ESDに関する講座や研修の依頼が多くなっています。ぜひ、皆さんとより充実した事業を展開し、ESDムーブメントの質向上と拡大を目指します。ご関心のある方は是非お問い合わせください。

**[INFORMATION]**

- 愛知県総合教育センターと協働で実施したESD研究報告  
平成20～21年度 環境教育の在り方に関する研究  
-持続可能な社会構築を目指して-  
<http://www.apec.aichi-c.ed.jp/shoko/99syuu/kannkyou/kannkyou.htm>
- 平成22～23年度は、「生きる力をはぐくむESD実践カリキュラムの開発に関する研究」を題材に6つの学校教員とすすめています。詳細はEPO中部まで
- EPO中部発行: ESDに関する資料  
「生物多様性×持続可能な開発のための教育」  
…生物多様性保全のために必要な教育からESDをひも解いた内容  
「未来をつくる力を育む『授業づくり』に役立つESD読本」  
…教員の方への普及を目的に作成  
「Sustainable BOOK」  
…持続可能な社会を創るために必要なエッセンスを掲載  
「未来をつくる『わたし』のESD提案」  
…学校と地域の連携をテーマに実践紹介とくみづくり全てダウンロードできます。  
[http://www.epo-chubu.jp/02\\_works/Report/c\\_esd.html](http://www.epo-chubu.jp/02_works/Report/c_esd.html)
- プラスESDプロジェクト(事務局/認定NPO法人ESD-J)  
<http://www.p-esd.go.jp/top.html>  
「持続可能な社会に向けた人づくりや活動」の見える化、つながる化を目的にした登録制度。